

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
なみっこキッズクラブ		R7年 9月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		現状十分なスペースを確保できている	現状の状態を維持していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切な人員配置が出来ている	現状の状態を維持していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚掲示や環境整理を行い、過ごしやすい事業所作りを行っている。	さらに分かりやすい環境作りの工夫を行っていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除や消毒を行っている	定期的な大清掃や、汚れている箇所があればすぐに清掃を行い清潔を保って行く。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		ゆっくり身体を休められる場所を用意している。	安全に過ごせるように、引き続き現状の状態を維持していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングの際、実施内容を確認・改善に努めている。	ミーティングで具体的な目標を話し合い、全員が意識を持って対応をする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からの意見を広く聞ける体制を整えている。	職員間で情報共有や意見交換などを行いながら、活動プログラムを立案していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティングで意見を取り入れている。	引き続きミーティングで意見しやすい環境作りや個別に意見を聞く機会を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		外部評価は行っていないが、定期的な研修などで業務改善に取り組めるよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に一度研修を実施し、職員の知識や見解を広げている。	研修に参加し、更に職員の資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月公表している。	引き続き、チームで活動プログラムの立案を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		利用者のニーズを把握し、作成を行っている。	引き続き定期的な面談や送迎時の会話を通して、ニーズを把握し作成を行っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画については、原案を元に個別支援会議を開催して支援計画を作成している。	引き続き、チームで支援計画を立て、日々の支援を行なっていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		ミーティングなどのタイミングで共有を行ない、支援の方向性の統一を図っている。	引き続き、全員が共通の認識を持って支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		記録に残し、日々確認している。	日々の記録を継続的に行ない、それを元に支援をおこなう。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		アセスメントを取り、それを元に作成を行っている。	引き続き分かりやすい支援内容の設定を行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		支援内容に沿って適切に設定を行ない、具体的な支援を行なっている。	引き続きチームでの立案を行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		支援内容、プログラム内容を共有し、改善策の共有を行っている。	引き続き行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者のニーズ、子どもの状況などを支援の中で確認しながら、支援を行っている。	引き続き行っていく。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		事前に支援内容を話し合う機会を設け、チームで行えるように共有、連携を行っている。	更に内容を深めながら、話し合いを行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		ミーティングを行い、気づいた点や改善点の話し合いを行っている。	引き続き行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録をとり改善策を話し合って支援を行っている。	今後も記録をとり、当日出勤していなかったスタッフにも共有ができるように努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	引き続き、半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管、参加が可能な担当者で対応を行っている。	引き続き子どもの状況把握に努め、会議に参加していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		訪問看護の看護師と連携を取り、適切な支援が行えるような体制を取っている。	連携を深め共通の認識を持って支援を行っていききたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		送迎時や電話、訪問などで、様子の共有と連携を図っている。	引き続き、共有を行ない、情報の収集に努め支援を行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者や就学先のニーズがある際に連携し共有を行なっている。	就学に向けてスムーズに移行できるよう、情報共有を行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1	必要に応じて連携を行っている。	今後も担当者とは密に連携を取り、利用者にとって必要な支援ができるように努める。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	公園や近隣施設、地域のこどもと関わりが出来るように工夫している。他事業所と関わる機会を設けている。	引き続きイベントなどで地域との交流が出来るように努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や電話等で必ず行っている。	引き続き行い、信頼関係を築いていく中で、安心して相談や連携を図ることが出来るようにする。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	お困りごとがあればお聞きして必要な支援、トレーニングを提案している。	講習会の案内など、保護者に向けて情報発信を行っていききたい
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		必ず行っている。	引き続き丁寧な説明を行っていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者からアセスメントシートを用いた聴き取りを行い、ニーズや子どもからの意志を確認し、個別支援計画書の作成を行っている。	引き続き面談や会話を通して、より良い支援内容の提供、確認を行う。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		必ず提示しながら、口頭で説明をしたあとに同意をいただいている。	引き続き丁寧な説明を行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		職員全員で考え、助言や支援を行っている。	会議を通して適切な助言や支援を行えるように連携していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者からのニーズがなく、交流の機会を設けることがなかった。	ニーズがあれば保護者会を行っていただけるようにする。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		送迎時や面談時など窓口を設け、迅速に対応出来る体制を整えている。	引き続き迅速な対応を行っていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のイベントや、日々の様子を発信出来ている。	引き続き個人情報に十分注意しながら、活動内容をお伝えしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		留意している。	引き続き十分注意しながら、取り扱っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		地域にて必要な情報があれば事業所からも各ご家庭への伝達を行っている。	言葉だけではなく視覚支援を取り入れながら、分かりやすくお伝えしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		地域とのかかわりが出来るよう、イベント内容を工夫し、取り組んでいる。	引き続き、イベント等で地域と関わる事が出来る環境の設定に努める。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間計画に沿って、マニュアルを基に訓練を行っている。	引き続き計画に沿って訓練を行い、保護者にも取り組みを周知する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画に沿って、マニュアルを基に訓練を行っている。	引き続き計画に沿って訓練を行い、保護者にも取り組みを周知する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		必ず聴き取りを行い、服薬の状況確認と共有を行っている。	引き続き確認と共有を行ない、認識に誤りがないように注意する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アセスメントを取った際に確認する事を徹底している。定期的にアレルギーの追加や変更がないかを確認している。	引き続き確認と共有を行ない、認識に誤りがないように注意する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画の計画書や研修、訓練を定期的に行い、安全管理に努めている。	引き続き、安全計画書の作成や研修、訓練などに取り組み、安全に支援が出来るように努める。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保については、契約時に丁寧に説明を行っている。	引き続き、契約時などで丁寧な説明を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録を残し、共有を行っている。	引き続き記録を残し、共有を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修やミーティングを行っている。	入社時や社内研修の際に事例を交えた具体的な防止策を講じて、虐待の防止に努める。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		該当児童はいないが、研修や委員会等を開いてスタッフ間で周知を行っている。	引き続き、身体拘束は行わず、安全に過ごせるように配慮していく。